


説明医師
 様へ 説明看護師(外来)
 看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日
経過	当日術前	当日術後	術後 1 日目
目標	手術の必要性を理解できる		ベッドサイド坐位がとれる
検査	手術に必要な検査は終わっています		血液検査とレントゲンがあります
食事	 入院後は絶飲食です	 許可が出るまで絶飲食です	
処置・観察	 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します リストバンドを右手首に装着します 鼻に管が入る場合があります	 手術室で手術 麻酔が醒めて病室に戻ります 鼻と尿と(お腹)の管が入っています 酸素マスクをつけていただきます 痛み止めの管が入っています	 鼻からの管の排液量を観察して抜くタイミングを検討します。
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  点滴が始まります	 点滴を行います	 点滴を行います
行動	医師の指示に従ってください (入院中は床が滑りやすいため、動きやすい靴をご準備ください)	 ベッド上安静です	 状態が安定していれば座位 もしくは立位までリハビリします 状態により歩行も可能です  必要時、清拭を行います
説明	 医師より説明 入院治療計画と麻酔について  看護師より説明 ・入院生活について  薬剤師より説明 ・内服薬について ・持参薬確認	 医師の回診があります	 医師の回診があります

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日
経過	2～3日目	4～5日目	6～9日目（退院日）
目標	腸閉塞症状がよくなる 歩行ができる	食事がとれる	退院後の日常生活上の注意点が 述べられる
検査	 症状に応じて血液検査とレントゲンがあります 		
食事	経過を見ながら主治医が食事再開の時期を判断します。 お腹の状況を見ながら流動食から粥食、米飯に徐々にアップしていきます。		
		 	  
処置・観察	 体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測定します 鼻からの管が抜けたら、 飲水を開始します 排ガスの状況を見て食事を再開します 離床の状況を見ながら 尿の管を抜去します。 尿の管を抜去後、排尿を確認します。 傷の処置をします 痛み止めの管を抜きます		
			
点滴・内服	 点滴を行います		
	 点滴を行います 食事が順調に入れば、点滴を減量します		
行動	 主治医の許可があれば歩行できます  必要時、清拭を行います		
	 主治医の許可があればシャワーできます  必要時、清拭を行います	（退院日） 朝食後、退院となります	
説明	 医師の回診があります		
	 医師の回診があります	 医師より説明 ・退院後の治療方針について  看護師より説明 ・退院後の療養生活について	